

# 地域医療連携ニュース



# No. 6

2019.5.31

## ごあいさつ

副院長 池園 哲郎

連携施設の先生方、耳鼻咽喉科の池園哲郎と申します。昨年は難聴のある女の子がヒロインのNHK朝の連続ドラマ『半分、青い。』のシナリオ監修を担当しましたので、埼玉医科大学病院の名前を耳にされる機会が増えていたら大変嬉しく存じます。

令和を迎える新年度、最初の号ですので、明るい話題で始めたいと思います。特定機能病院に義務化されている外部評価である「病院機能評価」を昨年12月に受審しました。今まで慣習としてやってきたことや、課題があるけれどそのままになっていた部分に改めて光をあてて、ルールを明文化し、現場がうまく回っているのか、患者さんの安全が確保されているか、一つ一つ確認しながら改善していく作業を行いました。評価項目は90個、チェックポイントはおそらく1000個を超えており病病連携、病診連携も審査の対象でした。2年以上前から準備を開始し、織田弘美病院長のもと職員一丸となって取り組んだ結果、全体としてかなりの高評価を得ることができました。これも連携施設の先生方との良好な関係があつてのことと、改めて感謝申し上げます。

カルナオンライン予約には、診療予約のみならず、検査をメインにした予約もあり、最近利用される施設が増えております。患者さんにとって一番のメリットは、受付手続きから診療・検査に伴う待ち時間がとても短いという点です。予約時間・枠数は当院にて設定、紹介状内容をもとに総合診療内科及び核医学診療科の医師が問診・診察して、検査の説明を丁寧に行い、承諾を得てから検査を実施いたします。検査の種別・部位等については、紹介医のご判断となります。2018年3月実績では、MRI34件、CT25件、RI17件、心臓エコー6件、腹部・甲状腺エコー2件でした。是非ご活用ください。(詳細は8,9ページをご覧ください。または、049-276-1296へお電話ください)

※写真中央 池園 哲郎先生

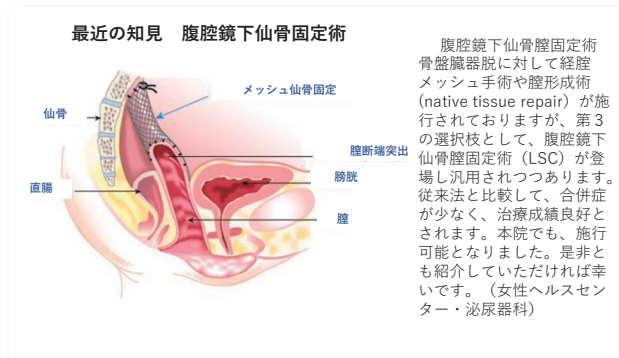
## Contents

最近の知見	2
泌尿器科	
診療科のご紹介	3
血液内科	
脳神経外科	
新任医師のご紹介	4
整形外科・脊椎外科	
医療安全管理学	
神経内科	
病院長からのエール	
看護部から	6
診療連携シンフォニー	7
地域医療連携室から	
カルナ(インターネット予約システム)のご利用	8
提携医療機関から	
秩父病院	8
岩田産婦人科医院	9

## 最近の知見：泌尿器科

### ■泌尿器科

泌尿器科は、性病を専門とする、ある意味では矮小された科であるという印象をお持ちの方もいらっしゃると思いますが、この科は、男女問わず多くの疾患を扱う守備範囲のひろい科であります。例えば、性病や性機能障害、男性不妊、前立腺がんや膀胱がんなどの悪性腫瘍、高血圧の原因となる副腎腫瘍、膀胱炎から腎盂腎炎を含めた尿路感染症、尿路結石、おしっこが漏れる尿失禁、おしっこが出なくなる前立腺肥大症や神経因性膀胱、腎不全に対する透析用ブラッドアクセス作成や腹膜透析用のカテーテル挿入などの手術など多岐にわたっております。泌尿器科での手術は、他の科と同様に腹腔鏡手術や経尿道的内視鏡手術など侵襲性の低い方法で可能な限り対応しております。



また、尿路結石の治療については、レーザー・体外衝撃波などすべての機器を有しており、適切な道具と方法をもって対応しております。また、良性疾患（前立腺肥大症や尿失禁）に特化せず、悪性腫瘍についても、最先端の薬物療法も施行できる体制にもなっております。

排尿障害のある入院患者さんに対しては、看護師を中心とした薬剤師・理学療法士さらには医師を含めた多職種による排尿ケアチームが結成されており、週に2回、回診をして、主科を問わずできるだけ膀胱留置カテーテルの抜去など適切な排尿管理ができるように努めております。また、良性腫瘍である腎血管筋脂肪腫を発症する先天性疾患である結節硬化症についても、全身に多彩な病態を有する特異的な疾患なため、泌尿器科・皮膚科・小児科・呼吸器内科・脳外科・遺伝子診療部などからなる結節硬化症ポートが難病センターの部門として数年前から立ち上がっており、いつでも紹介患者を待っている状況であります。

いつでも、泌尿器科疾患にたいして優れた医療を提供できるように努力している次第です。

### ■開業医の先生方へのメッセージ

いつも大変お世話になっております。前述の結節硬化症ポートや女性骨盤底疾患を扱う女性ヘルスセンターなど複数の科に対応している疾患をはじめ、広く needs に応えるような体制をとっております。開業医の先生方におかれましては、排尿困難・尿失禁を示す患者で対応にお困りの患者や悪性腫瘍（無症候性肉眼的血尿を呈する膀胱癌など）の存在が心配な患者などいつでも紹介していただければ幸いです。また、本科において治療方針が定まり、定期的に薬物を投与しているような患者を逆紹介させていただくこともあると思います。もちろん、何かお困りのことがあれば本院へいつでも返していただいても結構です。

気楽に紹介していただければ幸いです。

泌尿器科 診療部長 朝倉 博孝  
外来 ☎ : 049-276-1290



● **血液内科 診療部長・教授 中村 裕一（ナカムラ ユウイチ）**

当院（毛呂）血液内科は、国際医療センター（日高）造血器腫瘍科と連携をとり、地域の血液疾患診療にあたっています。血液疾患患者の絶対数は多くありませんが、県内に専門科を有する医療機関が少ないため、広範な地域から多くの患者さんをご紹介いただき診療しております。現診療体制は、中村（診療部長・教授）、脇本（外来医長・准教授）、伊藤（病棟医長・講師）の旧スタッフに3人の若手助教（阿久澤、奥田、坂本）が加わり、計6人と少人数ながら、緊密なチームワークでがんばっています。病棟は無菌病室12床と一般病室20数床で、外来化学

療法センターを利用しながら、入院／外来の連携で継続治療ができるようにしています。

当科では血液疾患全般を診療していますが、造血幹細胞移植については、国際医療センターに設備を移管しているため、同院に診療を依頼しています。移植治療以外の、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄増殖性腫瘍、骨髄異形成症候群などの血液腫瘍や、貧血性疾患、血小板減少症、凝固異常症など、血液疾患全般の診療を経験豊富な専門医が初診から責任を持って担当いたします。



**診療部長のご挨拶**

「血液の病気は難しく治りにくい」という印象を持たれている方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、新規薬剤の導入など、近年の血液疾患の治療の進歩は目をみはるものがあります。私たちは血液疾患の患者さんに最良の治療が提供できるよう日々努力しておりますので、ご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いたします。

血液内科 中村 裕一  
外来☎：049-276-1278

**診療科のご紹介**

● **脳神経外科 診療部長・教授 藤巻 高光（フジマキ タカミツ）**

てんかんは日本には100万人以上の患者さんがいるといわれていますが、その30%はお薬で発作が完全に消失しない”難治性てんかん”であると言われています。難治性てんかんの患者さんは、繰り返す発作やそれによる日常生活の制限、薬の副作用で苦しんでいます。てんかんの外科治療によってこれらの発作を抑制できる可能性があります。脳の表面に特殊な電極をおいて脳波をとったり、てんかんを起こす源となっている脳の部位の手術をしたり、また迷走神経刺激というペースメーカーのような機械を

前胸部に挿入することで発作が抑制されます。2～3種類の抗てんかん薬でもとまらない発作でお困りの患者さんがいたらご紹介いただければ幸いです。

もちろんいままで通り、お薬で治療の困難なパーキンソン病や本態性振戦、顔面痛や顔面痙攣、慢性硬膜下血腫や脳膿瘍についても積極的に手術を行っています。これらの疾患についても脳外科外来にご一報いただければなるべく早く拝見いたします。049-276-1287（脳外科外来直通、できれば午後がよいです）にお電話をいただければと存じます。



ビデオ脳波解析装置で発作波を解析しています

**診療部長のご挨拶**

埼玉医科大学脳神経外科は、高度な医療を行うために国際医療センターと専門性の棲み分けをしており、特に機能的疾患（パーキンソン病、振戦、三叉神経痛、片側顔面痙攣）や痛み、感染症、あるいは小児の水頭症や二分脊椎といった疾患の治療について専門的に行っています。昨年、埼玉医科大学病院に「てんかんセンター」ができ、埼玉県てんかん診療拠点病院にも指定されました。今号ではてんかん診療における脳外科の役割について多少詳しくお知らせしました。

脳神経外科 藤巻 高光  
外来☎：049-276-1287

● **整形外科・脊椎外科 教授 宮島 剛 (ミヤジマ ツヨシ)**

このたび2018年12月1日付けにて埼玉医科大学病院整形外科・脊椎外科教授を拝命しました、宮島剛と申します。また大学病院のほか、川越駅近くにある埼玉医科大学かわごえクリニック骨粗鬆症外来も兼任しております。1990年に本学を卒業し整形外科に入局、学生時代を含めると埼玉医科大学での履歴は35年超と、わが人生の約3分の2になりました。



整形外科と一言にいても、その対象領域は脊椎、股関節に始まり、手や膝、足、肩などの部位別に加え、骨粗鬆症やリウマチ、スポーツ医学等の疾患別の異なる専門性があり、教科書の厚さをみても内科の次に厚くて、幅の広い領域です。その中で宮島は骨粗鬆症を専門として、大学病院の他、かわごえクリニックにて骨粗鬆症の専門外来を担当しております。整形外科が扱う四肢および体幹の運動機能は、人間が人間として活躍するために最も重要で、この運動機能の根幹を成すのが支持機構である骨格で、これを破綻させるのが骨粗鬆症です。学生時代の講義で、日本人の「寝たきり」の原因の第2位が骨粗鬆症による骨折と聞きましたが、最近ではこれが第5～6位に後退、これは骨粗鬆症治療の確立の成果と言えます。さらにこの順位が低下するよう、また母校や地域の先生方にも貢献できるよう、私ができる仕事を粛々と務めて参ります。今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜れば幸甚に存じます。

**新任医師のご紹介**

● **医療安全管理学 教授 中島 勸 (ナカジマ ススム)**

2019年2月1日付で埼玉医科大学病院医療安全管理学教授を拝命いたしました。4月1日から医療法で配置が定められた医療安全専従医として、現場責任者である医療安全対策室長を務めております。

私は1991年に東京大学を卒業後、東大整形外科教室へ入局し、2002年より東大救急医学教室へ移籍して救急・集中治療の診療を行って参りました。救急・集中治療に身を置いていると、医療上の有害事象に限らず、法的な対応を要する場面が多いことから医療安全に関わるようになり、2009年から東京大学医学部附属病院の専任医療安全管理者を務めるようになりました。2011年から救命救急センター長も兼任し、院内の安全管理・危機管理を一手に引き受けてまいりました。

院外では、刑事事件化する医療事故への対応、医療事故調査制度の創設等、医療全体が大きく影響を受ける法的な制度創設に関わってまいりました。

この度埼玉医科大学病院へ赴任させていただき、地域における埼玉医科大学病院の役割と責任を思い、気を引き締めております。地域の医療安全に微

力ながら貢献できるよう尽力する所存でおりますので、医療安全上の課題でお困りの際は、ぜひ声をかけていただきますようお願いいたします。



● **神経内科 教授 中里 良彦 (ナカザト ヨシヒコ)**

2019年4月1日付で埼玉医科大学病院神経内科教授を拝命いたしました。私は埼玉県飯能市、地元の出身です。したがって、両親が病気のときには、しばしば大学に入院させていただいていました。兄も妻も本学出身ですので、文字通り家族ぐるみでお世話になっています。1986年に本学を卒業後、神経内科学教室に入局し33年間が経ちました。認知症、頭痛、脳炎、変性疾患など神経内科領域のすべての患者さんに対応できるオールラウンダーを目指してまいりました。この間、1998年には埼玉医科大学病院救急部創設に参加、2年半にわたり救急医療に従事いたしました。救急部に所属していた経験から、当院が地域診療の最終砦であることは身に染みて感じております。断らない医療を目指し、地域連携に貢献することで本学にも恩返したいと思っております。至らない点多々あるかと思いますが、これまで以上にどうぞよろしくお願いいたします。



**新任医師のご紹介**

● **新任医師へ病院長からのエール**

2018年12月1日付で整形外科教授に就任した宮島剛先生は、本学卒業生で、病棟医長、外来医長、医局長などを歴任し、かわごえクリニック開設後は兼務で骨粗鬆症外来を担当し、同クリニックの顔としても活躍してきました。超高齢社会を迎えた我が国の大きな課題の一つである骨粗鬆症診療に対してさらに貢献して頂けるものと期待しております。

法改正により特定機能病院には医療安全管理部門に医師の専従者を置くことが義務付けられました。このため、本年2月1日付で医療安全管理学講座の教授として中島勸先生に赴任していただきました。先生は、東大病院において救急・集中治療の診療を行いながら、医療安全の草分けとして活躍してこられました。当院の医療の質向上に貢献して頂けるものと期待しております。

4月1日付で神経内科教授に就任した中里良彦先生は、飯能市出身の本学卒業生です。研究面では発汗研究の第一人者ですが、若い頃から救急医療に積極的に参加し、現在でも若手医師とともに第一線に立っています。長い間神経内科の医局長として医

局運営を支えてこられました。今後も神経内科診療の充実にご尽力いただけるものと期待しております。



## ● 看護部から

2018年6月1日より、埼玉県アレルギー疾患対策事業委託事業として埼玉医科大学病院呼吸器内科・アレルギーセンターでは、「埼玉県アレルギー疾患相談室電話相談」をアレルギー担当の看護師と小児エドクターの看護師が電話相談を行っており、2019年2月までに162件、月平均約20件受けました。アレルギー疾患の患者さんやご家族、保育園・幼稚園・学校・施設の職員の方などから、小児食物アレルギーに関しての症状や治療についての相談が多く、続いて皮疹、薬剤、学校や保育園での対応に関する相談があります。例えば、11ヶ月乳児の母親より「パンとヨーグルトを食べさせたら口の周りと顔全体が赤くなってしまった。これは、パンや乳製品のアレルギーですか。」また、6歳の男児の母親より「アトピーと言われているが、皮膚のかさつきやかゆみが良くならない。どうしたらいいですか。」などの様々な相談を受けています。看護師のアドバイスにより安心される方もいらっしゃいますが、心配な点がある場合はアレルギー担当医に相談し、埼玉医科大学病院を含めた専門医療機関の受診を勧めています。アレルギーに関して何かお困りな事、不安のある患者さんやご家族がい

らっしゃいましたら「埼玉県アレルギー疾患相談室」電話相談室の紹介をお願いいたします。

「埼玉県アレルギー疾患相談室」電話相談室  
月曜日～金曜日 午後1時～4時（年末年始・祝祭日は除きます）

☎ 049-246-1763（埼玉医科大学病院内）

「埼玉県アレルギー疾患医療拠点病院ホームページ」

<http://allergy.saitama-med.ac.jp>

電話相談 6月1日スタート

### 埼玉県アレルギー疾患相談室

アレルギー疾患の患者さんやご家族、保育所・幼稚園・学校・施設の職員などのご相談に、看護師がお答えします

月曜日～金曜日 午後1時～4時  
(年末年始・祝祭日は除きます)  
☎ 049-276-1763  
(埼玉医科大学病院内)

アレルギー疾患の患者さんやご家族、保育所・幼稚園・学校・施設の職員などのご相談に、看護師がお答えします

- 気管支ぜん息
- アトピー性皮膚炎
- 食物アレルギー
- アレルギー性鼻炎
- 花粉症
- など...

薬を食べたら腹痛が止まらない！  
卵は食べちゃいけないの？

薬がなかなかよくなる！  
スキンケアの方法を教えてください。

アトピーはどれくらい悪化するの？

こんな相談も...  
産後や病後、検査や治療のこと  
専門医療機関への受診のこと  
学校や保育所での対応に関すること

発行元: 埼玉医科大学病院

## 地域医療連携室から

### 医療機関の皆様へ

地域医療連携室では、医療推進、機能分化に伴う集約的な窓口として、医療機関からのカルナ（インターネット予約システム）やFAX 紹介による診療予約受付、外来担当医表の発送、などを行っています。

紹介元の先生方からの**患者紹介に関する問い合わせ（受診相談、転院相談等）**については、**直接該当科外来**へお電話をお願い致します。

連携医療機関からの各種問合せに関して迅速に対応させていただいております。また、紹介医療機関への報告書（お返事）が滞ることのないように、病院連携システムにて管理しております。未報告に関しては外来と連携をとり対応させていただきます。

### 患者さんをご紹介頂くにあたって

当院では地域の医療機関と、患者さんに一貫性のある適切な医療を提供するために相互が協力・緊密な医療提携を図ることを目的として提携医療機関・登録医制度を設けています。登録頂きカルナ（インターネット予約システム）をご利用頂きますとインターネットで診療及び検査の予約が行えます。

### シンフォニーについて

埼玉医科大学病院は地域の先生方との顔の見えるきめ細かい情報交換を行い、さらに地域との連携を深めてまいりたいと考え、シンフォニー（紹介患者報告会）を2012年から毎年2回開催しております。

#### 【シンフォニー】

紹介して下さった地域の先生方に、患者さんのその後の経過を主に診療科の特色等も交えながらのご報告会です。

地域医療連携室 049-276-1876

## ● 第14回診療連携シンフォニーを開催しました

3月7日、当院にて第14回埼玉医科大学病院診療連携シンフォニー（以下、シンフォニー）を開催いたしました。

基調講演では、「外来でできる一般不妊治療」として、当院産婦人科 梶原教授に講演をいただきました。「生殖医学で体外受精、顕微授精を含めた不妊治療」などの内容を含め解りやすく報告されました。

紹介患者報告会では、集中治療部 芳賀教授より「子宮内胎児死亡を伴う敗血症性ショックに対する集学的治療」、放射線腫瘍科 関講師より「前立腺癌に対する強度変調放射線治療（IMRT）」、産婦人科 瀬戸助教より「子宮鏡下筋腫摘出術後の自然妊娠」、脳神経外科 平田助教より「難治性てんかんに対する外科治療」のタイトルで、4診療科より症例報告がありました。

当院での診療の取り組み方について、また患者を紹介していただきました連携医療施設との相互の関係を把握できた報告会でした。

シンフォニーは、今回で14回を迎え、約100名の参加者のもと盛大に開催することが出来ました。これも先生方のお力添えと感謝致しております。

シンフォニーが先生方との連携を一層深める機会となり、医療環境が厳しい中でも変化に対応できる医療連携の構築に貢献できれば幸いです。今後もシンフォニーにご協力戴きますようよろしくお願い申し上げます。

末筆ですが、先生方の益々のご健勝とご活躍を祈念致します。

埼玉医科大学病院診療連携シンフォニー 事務局

埼玉医科大学病院 第14回診療連携シンフォニー	
日時：平成31年3月7日（木）18：35から	
場所：埼玉医科大学 本部棟1階 第3講堂	
総司会	院長代理 三村 俊英
閉会の辞	病院長 織田 弘美
あいさつ	学校法人埼玉医科大学 理事長 丸木 清之
18：40	基調講演 「外来でできる一般不妊治療」 産科婦人科 教授 梶原 健
19：10	紹介患者報告会
I	「子宮内胎児死亡を伴う敗血症性ショックに対する集学的治療」 救急科（集中治療部）： 教授 芳賀 佳之 紹介元医療機関：岩田産婦人科医院（秩父市）
II	「前立腺癌に対する強度変調放射線治療（IMRT）」 放射線腫瘍科： 講師 関 智史 紹介元医療機関：関越病院（鶴ヶ島市）
III	「子宮鏡下筋腫摘出術後の自然妊娠」 産科婦人科： 助教 瀬戸 さち恵 紹介元医療機関：菊地病院（深谷市）
IV	「難治性てんかんに対する外科治療」 脳神経外科： 助教 平田 幸子 紹介元医療機関：秩父市立病院（秩父市）
	閉会の辞 副院長 篠塚 望
20：00	情報交換会



基調講演（梶原教授）風景



情報交換会（丸木記念館）風景

# カルナ（インターネット予約システム）の利用

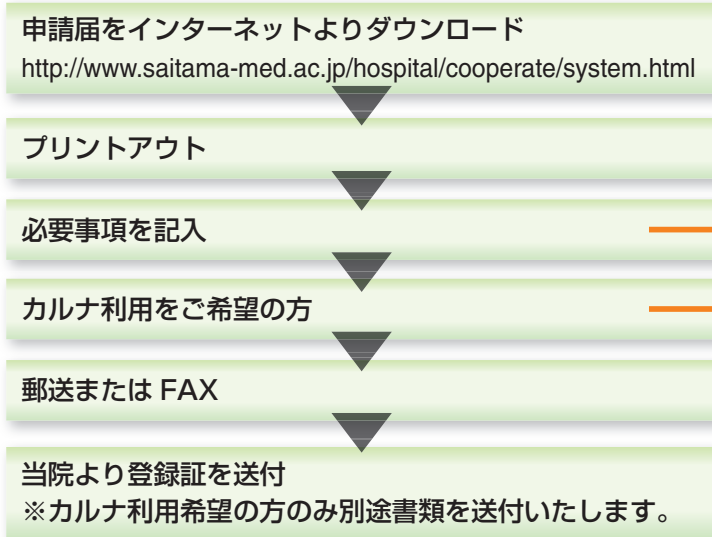
## 提携医療機関・登録医制度について

埼玉医科大病院と地域の医療機関とで、患者に一貫性のある適切な医療を提供するために相互が協力・緊密な医療連携を図ります。

## 提携医療機関・登録医、カルナシステム利用について

### 1. 「提携医療機関・登録医申請届」を提出してください。

▶カルナシステムを利用されたい方は、申請届を提出する際に申し出てください。



提携医療機関・登録医 申請届  
平成 年 月 日

埼玉医科大学病院  
病院長 織田 弘美 殿

私は、埼玉医科大学病院 病診連携システム（提携医療機関・登録医制度）の主旨に賛同し、登録申請いたします。

登録医師名 1医療機関1名(理事長・院長・所長等を明記)  
医療機関名  
診療科目名  
郵便番号  
医療機関所在地  
電話番号  
FAX 番号  
カルナ希望 あり なし (どちらかに○をつけてください)

## 提携医療機関から

### 秩父病院（秩父市）

当院は130年の歴史を持つ病院で、昔から近隣の先生方から多くの患者さんを紹介して頂いております。しかし、当地域では心・脳疾患等対応不可能な症例も少なくなく、その際多くは埼玉医科大学系の病院へお願いしております。特に埼玉医科大学病院には昔から患者様の受け入れを頂き感謝しております。又、近年構築されたカルナシステムは、電話とは異なり手間が少なく、患者様の都合を考えながらじっくりと予約することが可能で大変助かっております。更に、システムを利用する事によって、患者様に埼玉医科大学病院と秩父病院の連携体制がしっかりと確立されていることを知って頂くことができ、とても大きなメリットと感じています

理事長・院長：花輪峰夫



### 医療機関情報

診療時間：午前9：00～午後0：00  
午後3：00～午後6：00

休診日：日曜・祝日

<https://www.chichibu-med.jp/>





### 2-1. 患者紹介（外来診療予約）について

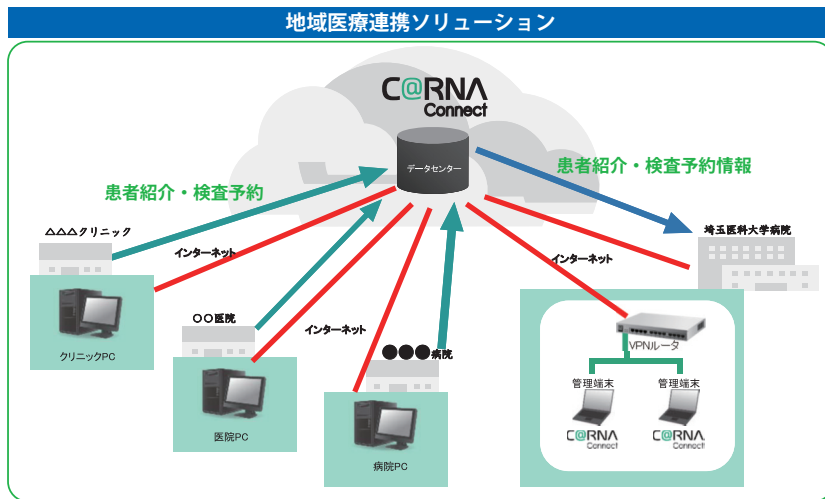
- ① カルナシステムでは、指定の予約枠に入力していただくことで、予約が取得できます。
- ② 患者さんは医務課での初診受付は必要なく、直接診療科外来で受け付け、お待ちいただけます。

### 2-2. 特定の検査の依頼について

- ▶カルナでは、CT 検査、MRI 検査、アイソトープ検査、骨シンチ、心エコー検査、腹部エコー検査などの検査もご利用できます。
- 検査終了後すみやかに、専門医の読影報告書を送付いたします。

### 2-3. 受診報告について

- ▶紹介患者さんが受診後には、報告書を送付させていただきます。



新規カルナ登録医療機関 (H30.9 ~ H31.4)			
さとう内科	狭山市	院長	佐藤 雄二
はんのう内科・腎クリニック	飯能市	院長	加藤 信孝
くぼた脳神経内科クリニック	東松山市	院長	久保田昭洋
フローラル歯科医院	日高市	院長	小川 恭男
青梅成木台病院	青梅市	院長	齊藤 幹郎
埼玉県立嵐山郷	嵐山町	医療部長	高木 博史
杏クリニック	狭山市	理事長・院長	鬼澤 信之

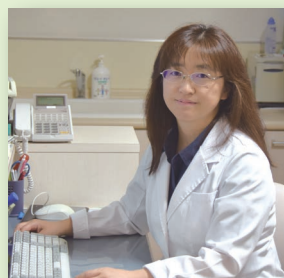
## 医療法人 岩田産婦人科医院（秩父市）

当院は秩父郡市内で唯一の分娩を取り扱うクリニックとして、産科、婦人科の診療を行っております。

婦人科、母体胎児の異常、その他の診療科等、ほとんどの患者様の紹介を埼玉医科大学病院へお世話になっております。

貴院へは、車での所要時間として約1時間はかかるため、受診日時があらかじめわかることにより、待ち時間が短縮できるというメリットが見込まれ、診察医、患者様ともに安心して紹介できるところがとてもよく、カルナシステムを利用させていただいております。

院長：城谷 誉子



### 医療機関情報

診療科目：産科・婦人科

診療時間：午前 9：00～午後 0：00

午後 3：00～午後 6：00

休診日：木・土曜日 午後、日曜日、祝日

<http://www.iwata-ladiesclinic.com/>



## 埼玉医科大学 建学の理念

- 第1. 生命への深い愛情と理解と奉仕に生きる  
すぐれた実地臨床医家の育成
- 第2. 自らが考え、求め、努め、以て自らの成長  
を主体的に開展し得る人間の育成
- 第3. 師弟同行の学風の育成

## 埼玉医科大学の期待する医療人像

高い倫理観と人間性の涵養  
国際水準の医学・医療の実践  
社会的視点に立った調和と協力

## 埼玉医科大学病院の基本理念

当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

## 病院の基本方針

1. すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
2. 安心で質の高い医療を実践します。
3. まわりの医療機関と協力し合います。
4. 高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
5. より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

## 患者さんの権利

当院は、すべての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。

これらを尊重した医療を行うことをめざします。

1. ひとりひとりが大切にされる権利
2. 安心で質の高い医療を受ける権利
3. ご自分の希望を述べる権利
4. 納得できるまで説明を聞く権利
5. 医療内容をご自分で決める権利
6. プライバシーが守られる権利

## 小児患者さんの権利

当院は、すべての小児の患者さんには、以下の権利があるものと考えます。

これらを尊重した医療を行うことをめざします。

1. こどもが最善の治療を受けて生きる権利
2. こどもが暴力から守られる権利
3. こどもが能力を十分に伸ばせるような医療を受ける権利
4. こどもが自分の診療について自由に意見を述べる権利

## 連携医療機関からの各種問い合わせ

救急センター・中毒センター：049-276-1199  
地域医療連携室（カルナ・FAX 紹介）：049-276-1876  
番号案内：049-276-1111

医療福祉相談室（退院調整）：049-276-2119  
セカンドオピニオン受付：049-276-1121



## 埼玉医科大学病院 地域医療連携ニュース（6号）

発行：埼玉医科大学病院  
発行責任者：織田 弘美  
編集：埼玉医科大学病院広報戦略委員会  
編集責任者：篠塚 望  
電話：049-276-1876 地域医療連携室  
住所：埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38  
発行日：2019年5月31日

※掲載している写真等は、関係者の同意を得ています。